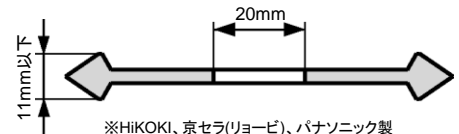


警告

- ・本製品は、石材系材料切断用集塵カバーです。鉄やその他材料の切断には使用しないで下さい。
- ・本製品は、コンクリート粉塵対応型集塵機と併用して下さい。(家庭用掃除機はご使用になれません)
- ・本製品は、下表に記載のダイヤモンドカッターのみ使用可能です。切断砥石やチップソーは使用しないで下さい。
- ・本製品は、安全カバーではありません。
- ・怪我の原因となりますので、本製品に損傷、ひび、変形等があった場合には使用しないで下さい。
- ・作業時には必ず、保護眼鏡、防塵マスク、安全靴、耳栓、その他安全装備を着用して下さい。
- ・本製品に、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させないで下さい。
- ・加工する材料は、切断作業前に確実に固定して下さい。
- ・お使いになるグラインダーの回転数よりも許容回転数が低い刃物は使用できません。
- ・本製品で使用可能なU・V溝カッターは内径20mm / 刃厚11mm以下です。(右図)

本製品で使用可能なU・V溝カッター



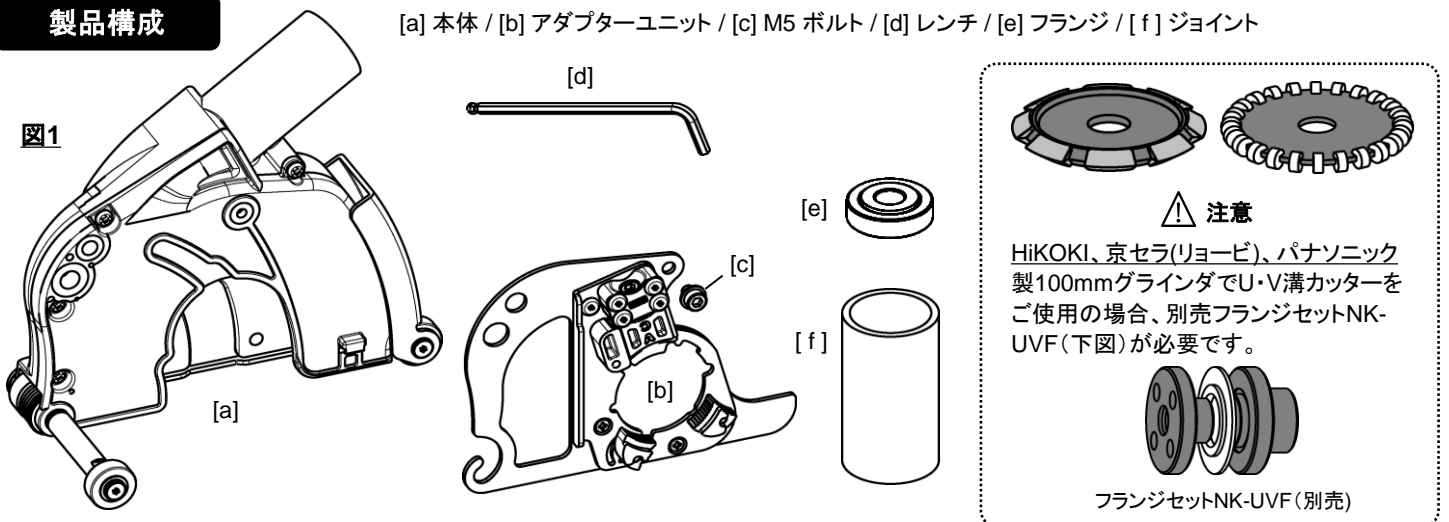
※HiKOKI、京セラ(リョービ)、パナソニック製100mmグラインダーの場合、別売フランジセットNK-UVFが必要です。

仕様

一部の刃物・グラインダーは別売部品が必要です。詳細は本表内のQRコードから、弊社web内「対応グラインダー検索」ページにアクセスしてご確認ください。

型名	NK-125MA	対応グラインダー・刃物検索
対応刃物	105~125mm ダイヤモンドカッター / 85~105mm U・V溝カッター	
対応被削材	石材、コンクリート、ブロック、タイル等	
最大切込深さ	28mm (125mmカッター使用時) / 18mm (105mmカッター使用時)	
質量	670g (アダプターユニット含む)	
対応グラインダー (2021年9月時点の各社カタログ掲載機種)	マキタ / HiKOKI / BOSCH / 京セラ(リョービ) / パナソニック 100-125mmディスクグラインダー ・X-LOCK機種(マキタ / BOSCH) は使用出来ません。 ・BOSCHのレバー付125mmグラインダー(GWS12-125CI など)は、別売のフランジセットNKFS-125MA(B) が必要です。 ・上記以外にも使用出来ない場合があります。	

製品構成

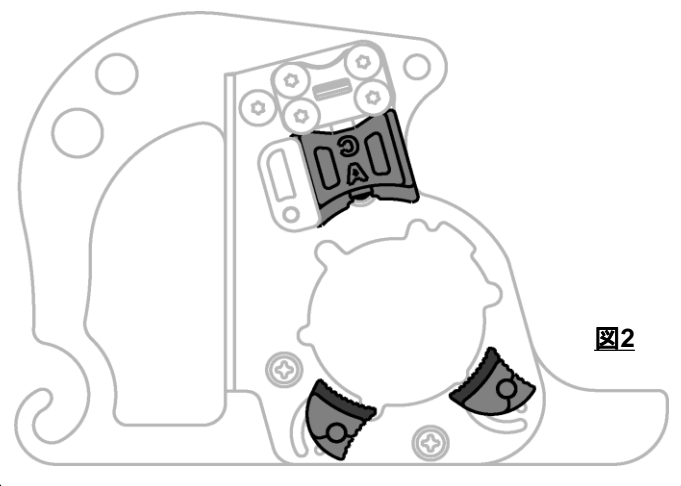


装着方法

1. [b] アダプターユニットの状態を確認してください。(図2、図3)

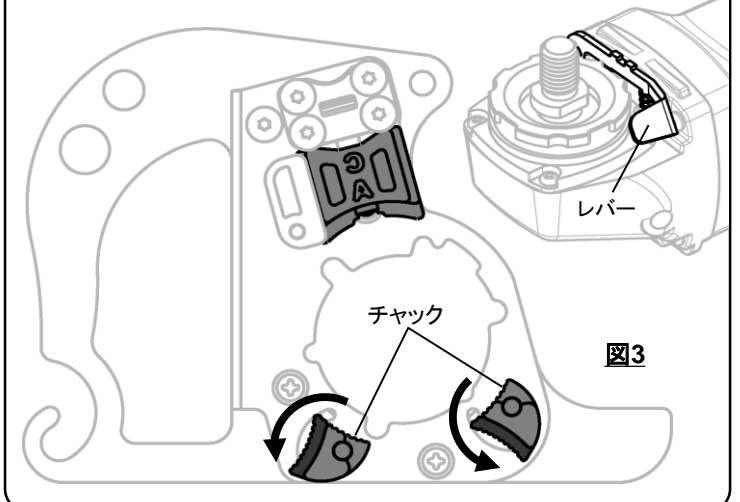
・右記以外のグラインダー

出荷状態(下図)のままお使い頂けます。



・BOSCH のレバー付グラインダー(下図)

(GWS18V-104H/10SC4/15C4H/15SC4H シリーズおよび GWS12-125CI など)
→ 下方2か所のチャックをカチッと音がするまで、反時計周りに回してください。



2. グラインダ標準付属のガードを取り外してください。(図4)

3. [b] アダプタユニットを、グラインダのギヤケースの上に置いて下さい。(図5)

このときグラインダの角度および回転軸の中心位置にご注意下さい。👁️ (図6)

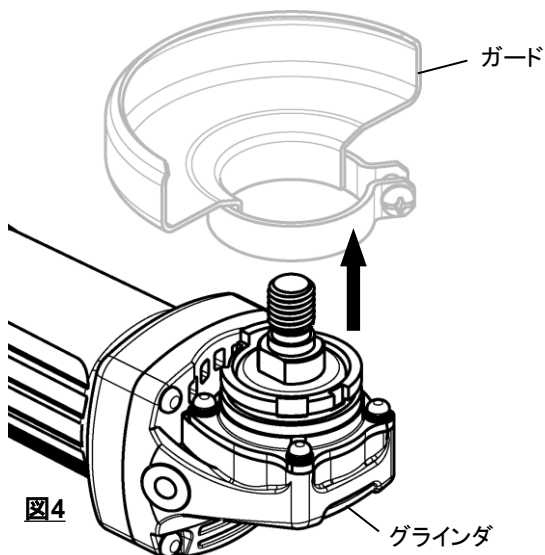


図4

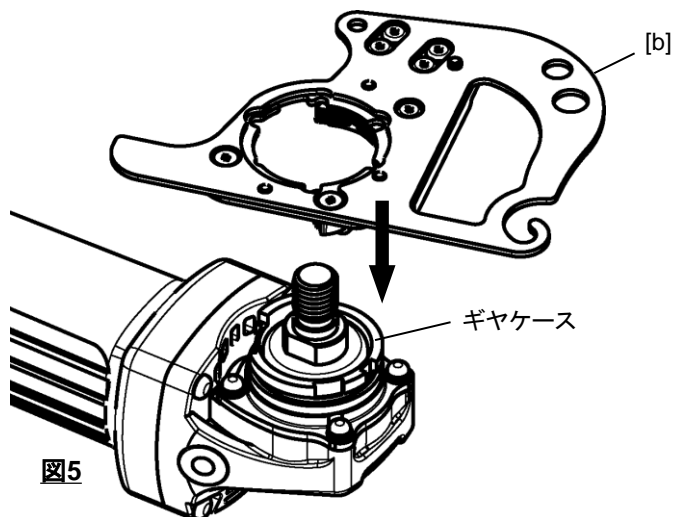
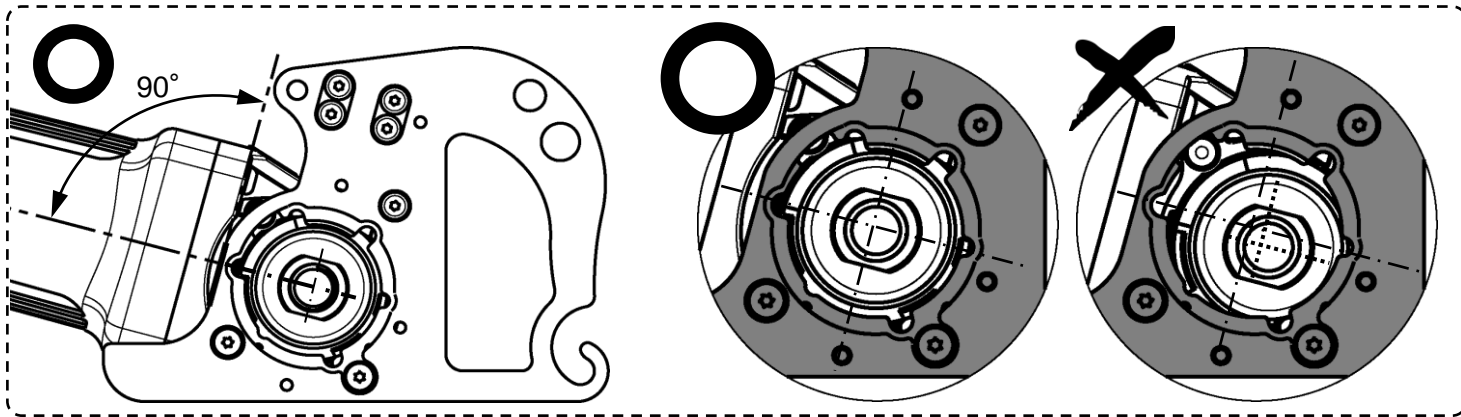


図5



図6



4. [b] アダプタユニットを上から押さえつけながら、[d] レンチで [b] アダプタユニット上方のボルトを確実に締結して下さい。(図7)

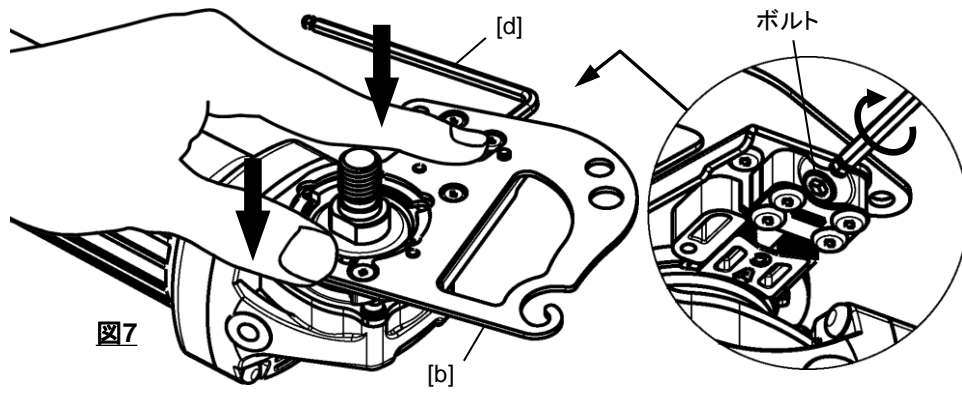
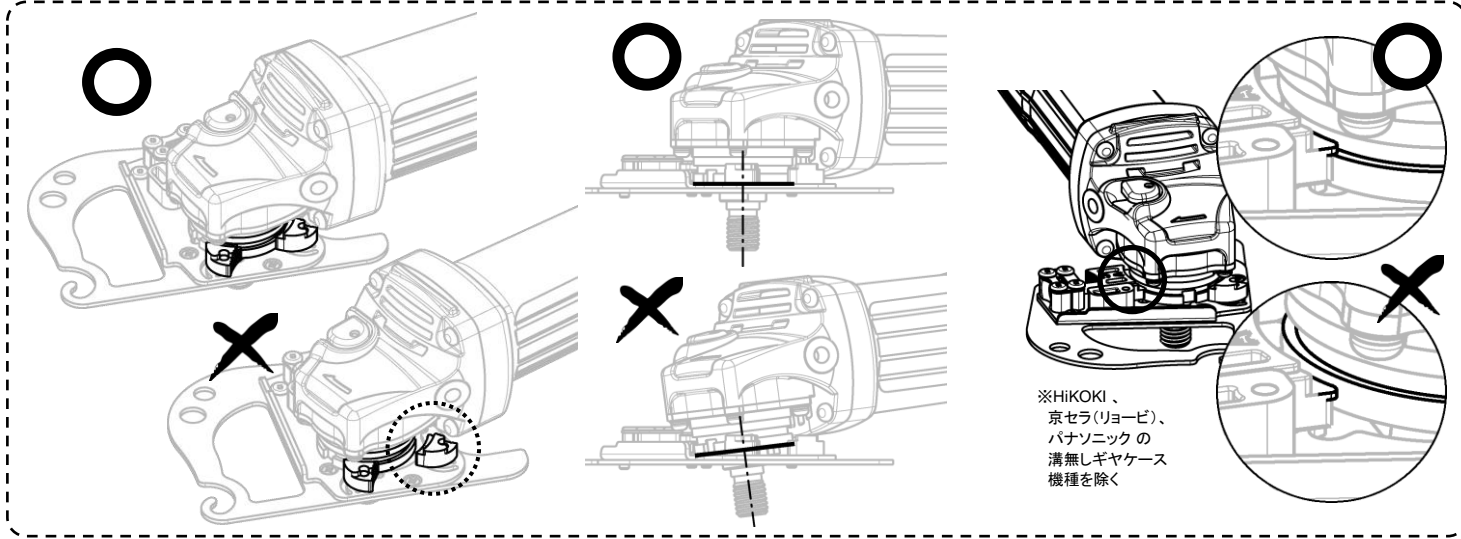


図7

5. グラインダと [b] アダプタユニットの装着状態を確認して下さい。👁️ (図8)



図8



※HIKOKI、
京セラ(リョービ)、
パナソニックの
溝無しギヤケース
機種を除く

6. 100mmグラインダの場合は本製品に付属の[e]フランジを、125mmグラインダの場合はグラインダに付属の標準フランジを、回転軸にセットして下さい。(図9、図10)

100mmグラインダの場合
 [e]フランジ
 ※表：内径φ20カッター用
 ※裏：内径φ22カッター用

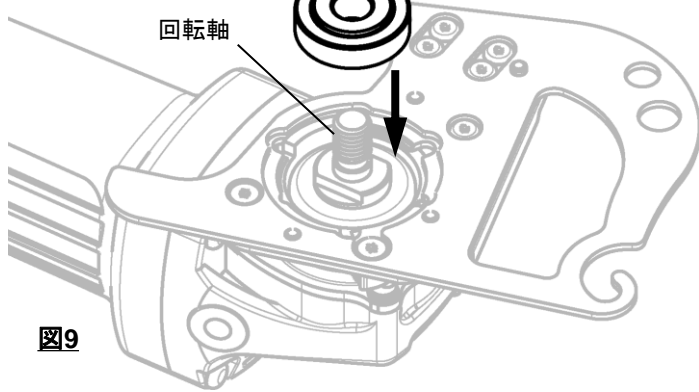


図9

125mmグラインダの場合
 標準フランジ

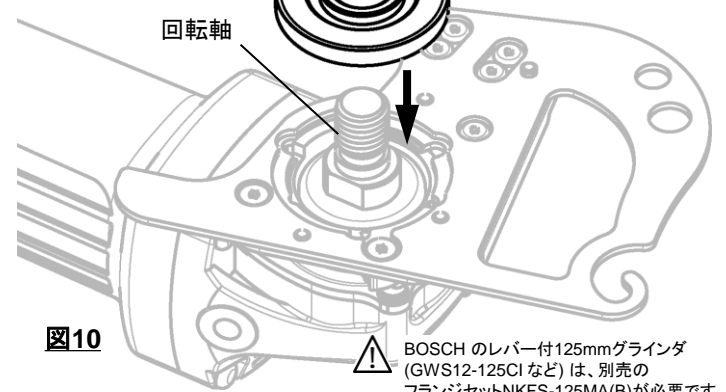


図10

⚠ BOSCHのレバー付125mmグラインダ (GWS12-125CI など) は、別売のフランジセットNKFS-125MA(B)が必要です。

7. フランジの上にカッターをセットし、グラインダに付属のロックナットを締結して下さい。(図11)

8. [b] アダプタユニット先端のフックと、[a] 本体のシャフトの溝を嵌合させて下さい。(図12)

9. シャフトを軸として、[b] アダプタユニット後端部が背面のストッパに掛かるまで[a] 本体を回動して下さい。(図13)

10. [d] レンチを用いて、[c] M5ボルトを [b] アダプタユニット上の穴から[a] 本体のネジ穴へ締結して下さい。(図14)

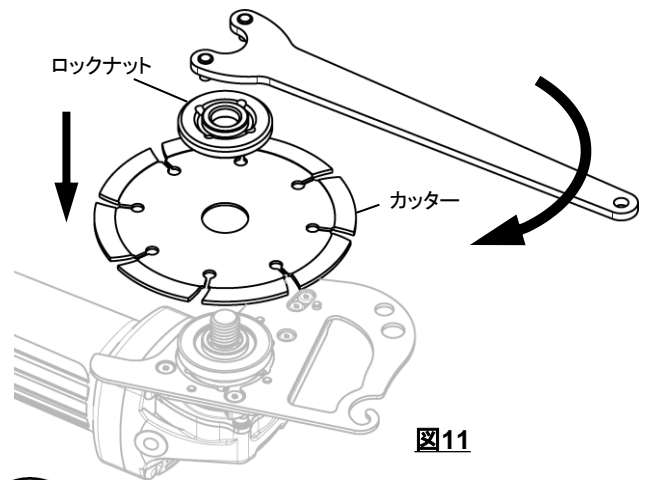


図11

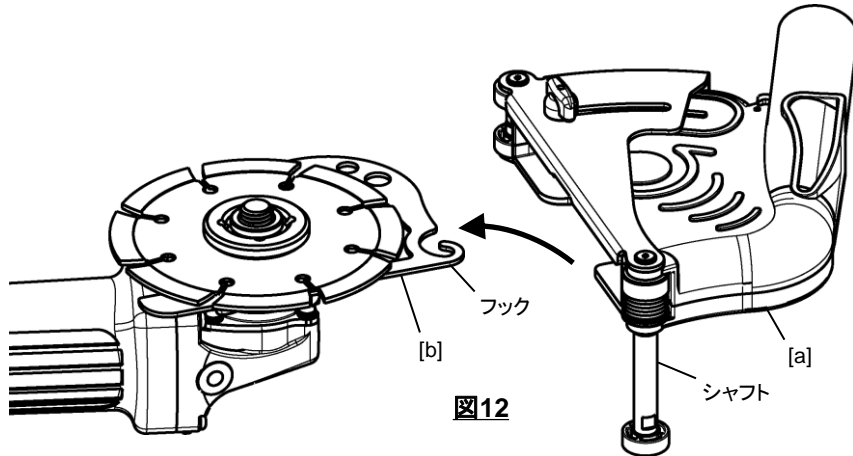


図12

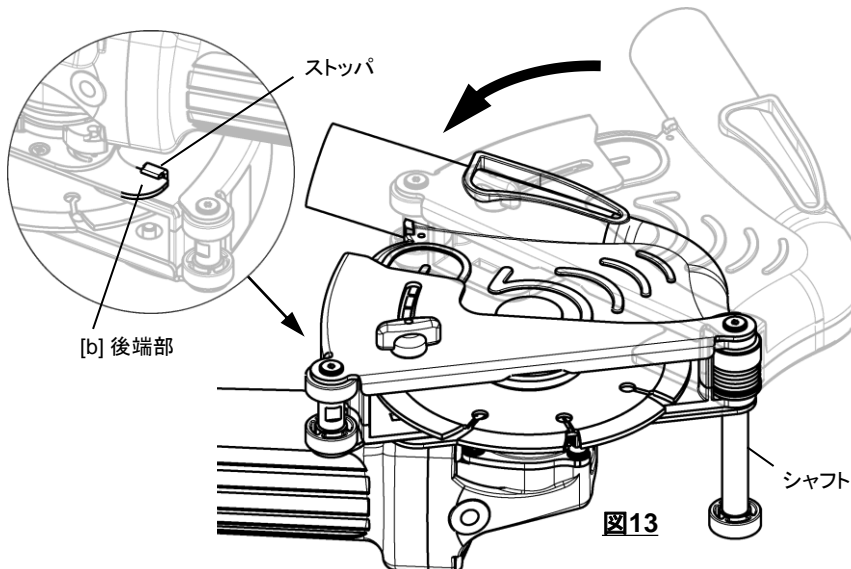
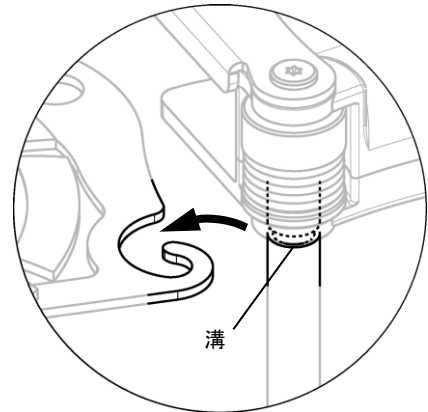


図13

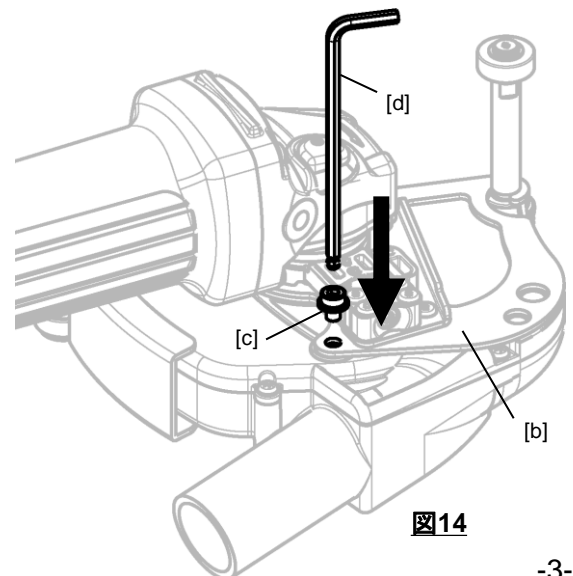


図14

11. [a]本体前方ローラ上のOリングをカッターの進行方向位置に合わせれば、切断位置の目安になります。(図15)
 12. [f]ジョイントを用いて集塵機のホースを[a]本体のダクトに接続します。グラインダ付属のハンドルをお使いの場合は、[a]本体背面のM8 / M10 穴に装着出来ます。(図16)

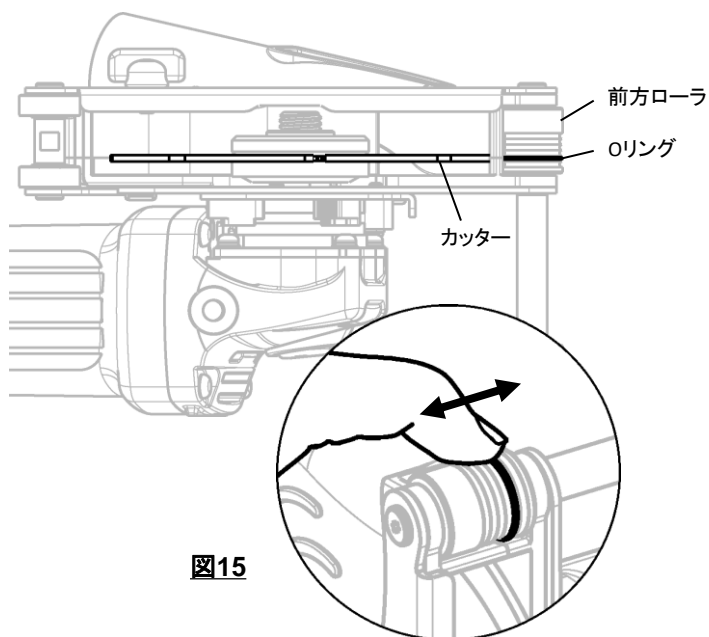


図15

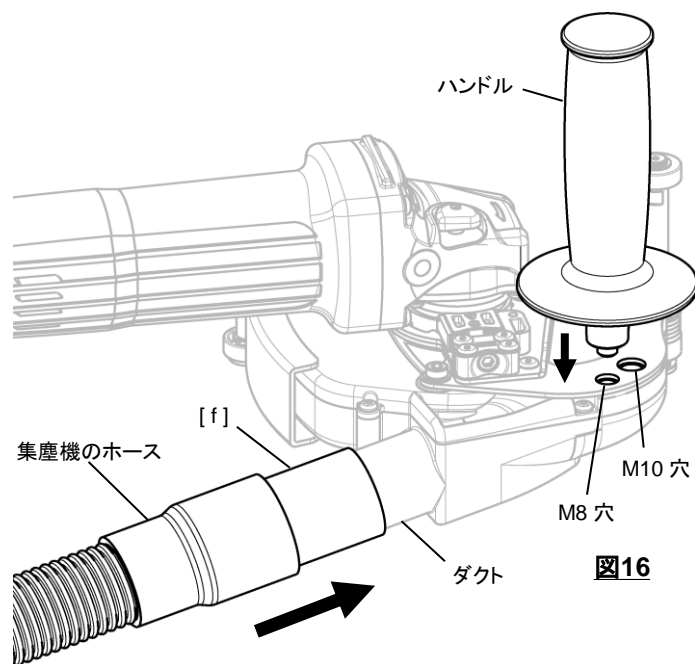


図16

切断方法

1. 正面のノブボルトを緩め、ベースを上下移動させて切込深さを調整して下さい。ベースの上端線を目盛線に合わせることで、切込深さをおおまかにラベル目盛の数値に調整することが出来ます。(図17)
2. 集塵機のスイッチを入れ、グラインダをしっかり保持した状態でスイッチを入れて下さい。その後まず前方ローラを被削材上に接地させてからカッターを入れ、グラインダをゆっくりと前へ押し進めて下さい。(図18)

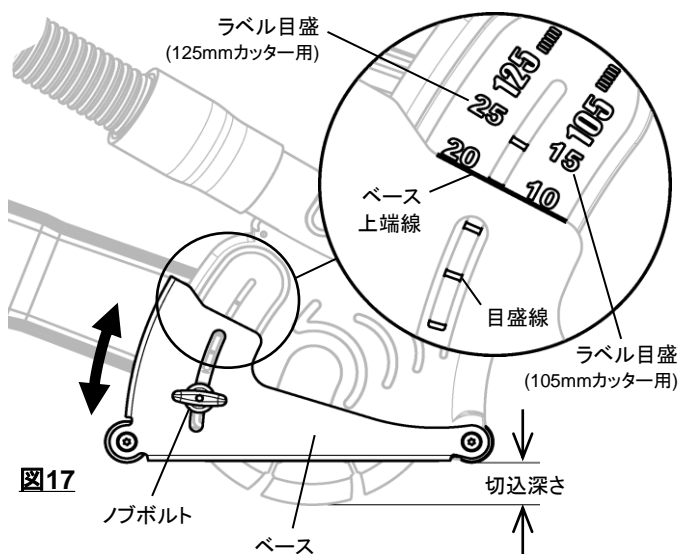


図17

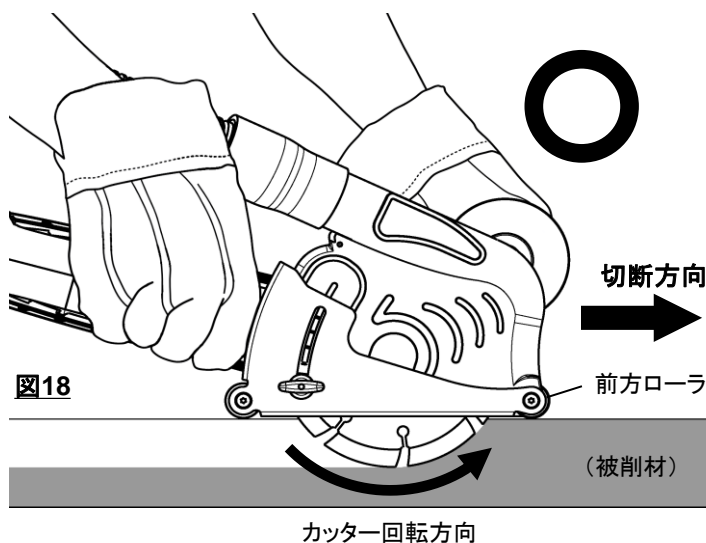


図18

- ⚠ 注意
1. 粉塵が漏えいしますので、切断中にグラインダを持ち上げないで下さい。(図19)
 2. 粉塵が漏えいしますので、グラインダを後方に引いて切断を行わないで下さい。(図20)

